

## 商品コンセプト

自社のオーガニックコスメの商品コンセプトについては以下のように考えます。

### フェノキシエタノールフリー：

化粧品の抗菌防腐剤として使用されるフェノキシエタノールは、グリコールエーテルに属します。皮膚を通じて体内に浸透されます。フランス保健製品衛生安全庁（ANSM）による研究では、『皮膚刺激性物質ではないが、重度の眼刺激性中毒を引き起こす。また、遺伝毒性の表示はなされていないが、繁殖および発育毒性があることが疑われる。』とされています。一般的には、グリコールエーテル類は有害であり、そのうちのいくつかは、不妊や胎児毒性などの問題を引き起こす可能性が報告されています。またアレルギー反応は明らかに湿疹やじんま疹を引き起こす可能性が、実証されています。

### 硫酸ナトリウムフリー：

ラウリル硫酸ナトリウム（SLS）はアニオン界面活性剤（洗剤）の一種です。泡立ちが良く、強い洗浄性がありシャンプー、シャワージェル、洗顔料、歯磨き粉等に良く使われている成分です。敏感肌や、乾燥肌のタイプの人、まれに痒み等を感じる場合があります。ラウリル硫酸ナトリウム（SLS）は分子量が非常に小さいので、肌の中に浸透していきやすいという点が挙げられます。また、さっぱりと皮脂や汗、汚れを取り除いてくれる反面、必要以上に皮脂を奪ってしまうことにより、皮膚が乾燥して頭皮では毛穴も痛んでしまいます。現在では石油由来のものではなく、植物成分からの合成に切り替わっています。ラウレス硫酸ナトリウム（SLES）は、ラウリル硫酸ナトリウムの刺激性を緩和した成分で、こちらもシャンプー等に汎用されています。ラウレス硫酸ナトリウム（SLES）は、ラウリル硫酸ナトリウム（SLS）比べて分子量が大きく、皮膚に吸収されにくくなっています。洗浄力・脱脂力はラウリル硫酸ナトリウム（SLS）と同様に非常に強く、皮脂を必要以上に奪ってしまいます。

ラウリル硫酸ナトリウム（SLS）とラウレス硫酸ナトリウム（SLES）の危険性は、頻繁に使用することにより外部の攻撃から身を守る皮膚の保護を排除するということです。有毒な化学物質は皮膚を通過し身体に侵入します。頻繁に使用することにより、皮膚のpHペーハーは中性から弱アルカリ性（7-8）にかたより、自然なバランス（弱酸性）に回復するには、約4～12時間を要します。

### パラベンフリー：

パラベンは非常に一般的に、食品や化粧品に用いられる防腐剤です。パラベンは、アレルギー性であることが知られており、薬事法で「アレルギーなどの皮膚障害を起こす恐れのある物質」としての表示が義務付けられています。また、環境ホルモン物質の疑いも持たれています。

## フタル酸フリー：

フタル酸エステル（DOP＝DEHP）については世界であらゆる角度から調査研究がなされてきましたが、現行においてはリスクは立証されていませんが、幼児の玩具や脂肪性の食品の容器には使用を規制をされています。

## エアレス容器の選択：

最小限の防腐剤を使用した成分を保護するためにエアレスパッケージを選択を致しました。エアレスパッケージは外部環境と内容物の接触を避け、汚染や酸化から内容物を保護を致します。エアレスボトルの構造は、上部（キャップ+エアレスポンプ）と下部ボトル（+内ポケット）で構成されています。下部のボトルは、硬質ポリエチレンで、内ポケットは柔軟性のあるポリプロピレンです。内容物は約96%出されます。最後にエアレスボトルは100% リサイクル可能な製品であることをエコサートによって認定されています。

Internal layer  
(PE)



PP: polypropylene  
PE: polyethylene



内ポケットにシャワージェルが少量（約4%）残っているところが伺えます。

上記の情報は、フランス保健製品衛生安全庁の研究とインターネット上での検索で得られた情報も含まれます。引用されたデータの正確性に責任を負うことはできません。